

- 2 第一次産業の国際比較に関する以下の設問A～Bに答えなさい。解答は、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。(編集部注：解答欄は横書きの30字×21行のマス目)

設問A

表2-1は、水産物の養殖業が盛んなくつかの国を取り上げ、1990年と2020年の生産量とその比、2020年の生産量の水域別の割合、2020年の生産量に占める水生植物(主に海藻類)の割合を示したものである。

表2-1

国	養殖生産量 1990年(トン)	養殖生産量 2020年(トン)	2020年の生産量に占める水生植物(主に海藻類)の割合				2020年/ 1990年
			海水域 (%)	汽水域 (%)	淡水域 (%)	水生植物 (%)	
中国	8,392,965	70,483,538	53.3	2.8	43.9	29.6	8.4
インドネシア	599,824	14,845,014	55.4	21.8	22.8	64.8	24.7
ア	162,076	4,614,692	5.4	31.0	63.6	0.3	28.5
イ	788,565	2,327,903	98.8	0.8	0.8	75.7	3.0
ウ	70,464	1,505,486	99.8	0.0	0.1	1.3	21.4
ノルウェー	150,583	1,490,412	100.0	0.0	0.0	0.0	9.9

FAO統計による。

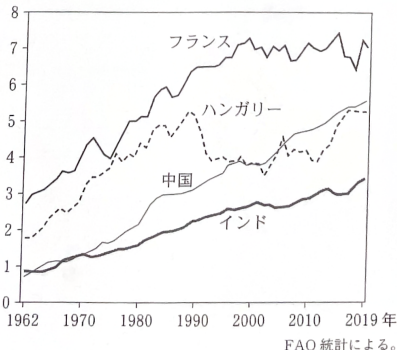
- (1) 表2-1のア、イ、ウに該当する国名を韓国、ベトナム、チリの中から選んでア～ウのように答えよ。**ア-ベトナム イ-韓国 ウ-チリ**
- (2) **【論述問題】** 1990年～2020年にかけては、全世界の水産物の養殖生産量に著しい増大がみられた。その背景を、水産物の需要・供給の両面に注目し2行以内で述べよ。
- (3) 表2-1の国のうち、中国、インドネシア、ア国の淡水域(A)、インドネシア、ア国の汽水域(B)、ウ国、ノルウェーの海水域(C)のそれぞれにおける代表的な水産物の名称と養殖が行われる場所の地形ないしは生態環境を、A～水産物、地形ないしは生態環境のように答えよ。
- (4) **【論述問題】** 今日の水産物の養殖業はその持続性において様々な課題を抱え、解決に向けた取り組みがなされている。その内容を以下の語句を全て用いて2行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

稚魚 生態系

設問B

図2-1は、1962年以降における各国の小麦の単位収量(トン/ha)の変化を示したものである(数値は前年・当該年・翌年の平均値を使用)。

図2-1 トン/ha



- (1) 中国とインドの単位収量は1970年代までほぼ同じ水準にあったが、1980年代前半に中国の単位収量が急激に増加し、両国の間で大きな差がみられるようになった。このような変化を引き起こした理由

記述問題は設問に答えを合わせること。
東大だけではなく、難関私大も同じだが、文章を作るのが苦手な人は、最初に外枠を作ってから用語を入れるようにすると、気持ちが楽になる。

(2)「需要」と「供給」の言葉を使って繋ぎ合わせると答えが作りやすい。

家畜の飼料の増加や魚食の普及など需要が高まる一方で、世界的な漁業資源不足により供給が滞っているため。

(3) エビ-マングローブ(汽水域)
サケ-フィヨルド

(4)「課題」と「取り組み」の2語を使うと、文章が作りやすく、答えがブれない。

養殖業は高濃度の餌を使用するので、周囲の生態系を壊してしまう課題がある。そのため、稚魚の段階から放流して、自然の力で育つ栽培漁業の取り組みが進んでいる。

を1行で述べよ。

- (2) **【論述問題】** ハンガリーは、1980年代までフランスに準じた単位収量を記録していたが、1990年代に入ると大幅に低下する。このような低下を引き起こした理由を、以下の語句を全て用いて2行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

農業補助金削減 肥料

- (3) **【論述問題】** 中国では、国内での価格の下落により1997年から2003年にかけて小麦の生産量が約30%減少するが、その後の17年間は約55%の増加を記録している。このような増加が生じた政策的な背景を以下の語句を全て用いて2行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

食料安全保障 肉類消費

- 3** 居住と自然環境に関する以下の設問A～Bに答えなさい。解答は、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問記号をつけて記入せよ。(編集部注：解答欄は横書きの30字×21行のマス目)

設問A

図3-1は、2014年に自然災害が発生した地域の2022年の地形図である。これをみて、以下の問いに答えよ。

- (1) 図3-1において、鉄道より北西側の住宅地域と概ね重なる地形の名称を答えよ。
- (2) 図3-1中の山地には、主に土地被覆に関する2種類の地図記号がみられる。それらの地図記号が示す土地被覆と地形との対応関係を1行で説明せよ。
- (3) **【論述問題】** 図3-1の山ぞいには、図中にA、Bで示すような人工構造物が多数みられる。これらの構造物は、2014年に発生した自然災害の後に建設されたものである。これらの構造物が建設された目的を、(2)の土地被覆の成立要因も考慮して、2014年に発生した自然災害の特徴とあわせて、3行以内で述べよ。
- (4) **【論述問題】** この地域では、1970年代以降に宅地化が進んだ。こうした災害リスクの高い土地でも宅地化が進んだ理由として考えられることを2行以内で答えよ。

図3-1



地理院地図による。

設問B

- (1) 図3-2は、横軸に2018年の都道府県別の1世帯当たり人員数を、縦軸に同年の1住宅当たり居住室数を示したものであり、A、B、C、Dは、北海道、東京都、富山県、沖縄県のいずれかである。A、B、C、Dの都道府県名を、A-○のように答えよ。

(1) 文章の枠組みを先に作ると、答えが作りやすい。

中国では1980年代から_____が始まったから。

↓
改革開放政策により、人民公社が解体され、農家の自由経営

(2) 1990年の冷戦崩壊は地理でもポイント
→ 東欧諸国が共産主義を放棄し、どんどんEU圏が拡大していった。

1990年の冷戦崩壊により、政府による農業補助金が削減され、政府調達による肥料も各農家の責任に任されるようになったので、生産性が低下した。

(3) 「食料安全保障」という言葉を知らなければ解けない。

「食料安全保障」

農作物の国内自給率を上げ、農業輸出国と衝突した際も、自国民に必要な食事を確保すること。

2000年前後には、肉類消費の拡大に伴い、大豆やとうもろこしなどの飼料作物への転作が増えた。しかし、2003年以降は、食料安全保障の観点から、自国民の食用の小麦栽培が奨励されたため。

2

(世界の第一次産業)

解答 設問 A. (1)ア－ベトナム イ－韓国

ウ－チリ

(2)乱獲を防ぐための漁獲量規制がされる一方，新興国の経済成長による食生活の多様化や先進国の健康志向から需要が増大したため。(59字)

(3)A－コイ，湖沼 B－エビ，マングローブ C－サケ，フィヨルド

(4)養殖業は飼料や薬剤の投与で，水質汚濁や生態系の破壊が課題だが，稚魚を自然界に放流する栽培漁業はその対策として進められる。(60字)

設問B. (1)生産責任制の導入により、農民の生産意欲が向上したため。(27字)

(2)市場経済への移行による経済の混乱から、農業補助金削減が行われ、資金不足で農家の肥料の使用量が減少したため。(53字)

(3)肉類消費の増加に伴う飼料作物の輸入増加で、食料自給率が低下したため、食料安全保障の観点から小麦の増産を国が主導した。(58字)

研究 設問A. (1)アは2020年における淡水域、汽水域の割合が高く、エビ養殖の盛んなベトナムと判断する。イは1990年代時点の養殖生産量が他地域よりも多いことから経済成長の早い韓国と決める。2020年の水生生物の割合の高さから、海苔やわかめなどの海藻類の養殖が盛んであることも判断材料となる。ウはチリ。1990年から2020年にかけての養殖生産量の伸びが著しいことからサケなどの輸出が急成長していることを想起する。

(4)栽培漁業のほか、漁獲によって資源の減少してきた水産物に対して、人工孵化から養殖を行うことや、人工孵化の難しい水産物に対して天然の稚魚を捕獲して人工的に育てる畜養などの取り組みも行われる。